



千鳥ヶ淵の満開の桜（墓苑東門前ボート場から3月30日に撮影）

千鳥ヶ淵の桜花爛漫



第 573 号

令和7年5月1日

今月は統一
会費納入月です

公益財団法人 千鳥ヶ淵
戦没者墓苑奉仕会

☎ 102-0075 千代田区三番町 2
電 話 03 (3261) 6700
F A X 03 (3261) 6712



http://www.boen.or.jp
郵便振替口座 00140-2-42556

編集人 中村 勤
発行人 杉本 順則

千鳥ヶ淵の桜も3月30日に満開を迎えた。多くの人々がお濠の両岸を埋め尽くす桜を満喫しながらボート遊びに興じている。毎年この時期、墓苑に眠る37万余の御霊が、この平和でのどかな春の風景を眺め、自分たちの犠牲も報われると思っただけならばと祈るのみである。

~~~~~

### 硫黄島及びフィリピン戦没者遺骨引渡式

令和7年2月13日、当墓苑で厚生労働省主催の硫黄島及びフィリピン戦没者遺骨引渡式及び遺骨収集団の解団式が航空自衛隊航空中央音楽隊による奏楽のもと実施された。

1月28日から2月13日の17日間、36名（注1）の遺骨収集団が硫黄島での収集活動で収容された33柱、また2月8日から2月13日の6日間、5名（注2）の遺骨収集団がフィリピンでの収集活動で収容された5柱の計38柱のご遺骨が遺骨収集団から厚生労働省に引き渡された。

式に参列した仁木厚生労働副大臣は、「硫黄島及びフィリピン戦没者遺骨収集団」の解団式で、先の大戦で祖国を思い、愛する家族を案じつつ、苛烈な戦闘の末に遠い異郷の地で亡くなった英霊に対して、改めて哀悼の誠を捧げた。

また遺骨収集団に対しては、長期にわたり、大量の土砂に埋もれた場所での「ご遺骨の捜索など大変厳しい環境での献身的な活動に対し、深謝の言葉で労をねぎらった。

厚生労働省の発表によると、硫黄島での戦没者概数は21、900人で収容遺骨概数が10、750柱（令和7年2月13日現在）、フィリピンでの戦没者概数は518、000人で収容遺骨概数が148、530柱（令和7年2月13日現在）で、帰国を果たせない極めて多くのご遺骨が残されている。

（注1）・硫黄島遺骨収集団36名の構成

- 一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会 6名
- 一般財団法人日本遺族会 6名
- 硫黄島協会 6名
- 小笠原村在住硫黄島旧島民の会 6名
- 特定非営利活動法人JYMA日本青年遺骨収集団 6名
- 公益財団法人大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会 1名
- 特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会 2名
- 水戸二連隊ベリリユー島慰霊会 2名
- 公益社団法人隊友会 1名
- （注2）・フィリピン遺骨収集団5名の構成
- 一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会 2名
- 一般財団法人日本遺族会 2名
- 厚生労働省職員 1名



ご遺骨の引き渡し（左が遺骨収集団）



ご遺骨の引き渡し（左が遺骨収集団）

容遺骨概数が10、750柱（令和7年2月13日現在）、フィリピンでの戦没者概数は518、000人で収容遺骨概数が148、530柱（令和7年2月13日現在）で、帰国を果たせない極めて多くのご遺骨が残されている。

（注1）・硫黄島遺骨収集団36名の構成

- 一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会 6名
- 一般財団法人日本遺族会 6名
- 硫黄島協会 6名
- 小笠原村在住硫黄島旧島民の会 6名
- 特定非営利活動法人JYMA日本青年遺骨収集団 6名
- 公益財団法人大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会 1名
- 特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会 2名
- 水戸二連隊ベリリユー島慰霊会 2名
- 公益社団法人隊友会 1名
- （注2）・フィリピン遺骨収集団5名の構成
- 一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会 2名
- 一般財団法人日本遺族会 2名
- 厚生労働省職員 1名

（関連記事2面）

（注）・パラオ諸島遺骨収集団12名の構成

- 一般社団法人日本遺族会 9名
- 一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会 1名
- 特定非営利活動法人JYMA日本青年遺骨収集団 2名

この行事は「天茶供養」として知られ、昭和39年から続く解脱会恒例の供養であり、今年で62回目を数える。

同教団では、各支部も千鳥ヶ淵戦没者墓苑の参拝を続けており、解脱会の英霊に対する篤い思いが継承されている。

次いで廣川教区長が誦誦文を奏上し「戦いは暴風の来襲に似ており、一度迫ればその難を逃れるすべはなく、身を挺してこれを防ぐ必要がある。古来より命令により戦場に赴けば、郷里の地を、またその家族の身の上を深く思い浮かべつつも、遂に異国の地で果てる人も多くおり、これを数えるのも切なくなるほどである。その肉体は山野で朽ちても、お墓を祖国に求めることは人として当然である。それらの殉国の御霊が遺骨とともに祖国に迎えられ、この墓苑において奉安されている。大東亜戦争が終了して80年が経過し世界は平和を願う声に満ち溢れており、再び戦禍にならないことを望んでいる」と述べた。

参列者による天茶供養に引き続き、廣川相談役、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会・榊枝理事長、実行委員長・大熊俊也氏の挨拶で供養祭は終了した。

供養祭終了後、前屋前の広場で少年少女鼓笛隊の演奏で退席する参列者を見送っていた。



墓苑の花「紫蘭」

花言葉

「あなたを忘れない」

パラオ諸島戦没者遺骨引渡式（令和6年度最後の引渡式）

令和7年2月27日、当墓苑で厚生労働省主催による令和6年度最後となるパラオ諸島戦没者遺骨引渡式及び遺骨収集団の解団式が陸上自衛隊中央音楽隊による奏楽のもと実施された。

2月10日から2月27日の18日間、12名（注）の遺骨収集団がパラオ諸島のアングウル島とベリリユー島での収集活動で収容された5柱のご遺骨が遺骨収集団から厚生労働省に引き渡された。

式に参列した仁木厚生労働副大臣は、「戦没者遺骨収集団」の解団式で、先の大戦で祖国を思い、愛する家族を案じつつ、苛烈な戦闘の末に遠い異郷の地で亡くなった英霊に対して、改めて哀悼の誠を捧げた。

また遺骨収集団に対しては、島々へのボートでの移動や照りつく炎天下での遺骨収容作業、集団埋葬地の木の伐採、掘削作業など大変厳しい環境での献身的な活動に対し、深謝の言葉で労をねぎらった。

厚生労働省の発表によると、パラオ諸島での戦没者概数は16、200人で収容遺骨概数が9、220柱（令和7年2月27日現在）、帰国を果たせない多くのご遺骨が残されている。

解脱会  
令和7年  
千鳥ヶ淵戦没者墓苑供養祭



3月23日、解脱会  
東京第一教区（教区長・廣川剛秀氏）主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑供養祭が参列者約150名をもって執り行われた。

供養祭開始前から前屋で来苑者へも天茶が振る舞われ、定刻の11時25分、教団の鼓笛隊の慰霊演奏で慰霊供養が開始され、一同による「海ゆかば」斉唱、献花・奉納の儀が行われた。



NPO法人  
ピースリング・オブ・グアム・ジャパン  
「春彼岸参拝」

3月28日（金）、ピースリング・オブ・グアム・ジャパン（理事長・松本平太郎氏）主催の春彼岸参拝が約60名の参列者をもって千鳥ヶ淵戦没者墓苑で行われた。

式典は、全員の黙とうに始まり、松本理事長をはじめ、元衆議院議員・土屋正忠氏、衆議院議員・福田かおる氏及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会・榊枝理事長の各挨拶の後、全員での「ふるさと」斉唱、献花と続き、戦没者への慰霊の誠が捧げられた。

日本から最も近い米国領土である「グアム島」は、先の大戦で「太平洋の防波堤にならん」と約2万の日本兵が戦い、約1万9千余名の方が亡くなった。しかしながら、日本に帰られたご遺骨は僅か500柱余である。



少年少女鼓笛隊



天茶供養（右：廣川相談役）

第52回 千鳥ヶ淵戦没者墓苑  
「戦没者追悼慰霊式典」  
東京葵ライオンズクラブ

3月29日、東京葵ライオンズクラブ主催の千鳥ヶ淵戦没者追悼慰霊式典が雨天の中、約200名の参列者のもと



墓前での集合写真

（ピースリング・オブ・グアム・ジャパンのあらまし）（同パンフレットから抜粋）

ピースリング・オブ・グアム・ジャパンは、2012年にNPO法人に認定され、①英霊となられた方々のご遺骨の早期帰還、②過去にあった悲惨な戦争の歴史を風化させず正確に次世代につなぐことによる平和への新たな誓い、③未だ戦争の傷跡が癒えぬ地元住民の方々の共同活動を通じた融和と協調、共生を目的に活動が続いている。

ご遺骨が日本に帰還しないまま、慰霊もされないまま、今もビーチや小路に残る手つかずの戦争の傷跡。美しい海が広がるこの島に観光で訪れたとき、「ありがとうございます」、祈りを込め、「平和」であることに感謝を捧げる言葉を口にしていただけることできっと御霊は安らぎます。



オペラ歌手・藤田植葉さんによる国歌独唱



開式の辞を述べる大和田氏



祭壇の全景

行われた。

式典は午前11時から開始され、式典実行委員長・大和田氏による開会の辞、全員による拝礼、オペラ歌手・藤田植葉さんによる国歌独唱、引き続き、黙祷、ライオンズ・ヒム（賛歌）斉唱、全国友好葵ライオンズクラブから持ち寄られた各地の名水による献水の儀、東京葵ライオンズクラブ会長・梅津氏の献辞、江東区立明治小学校マーチング・バンドの音楽奉奏、参列者全員の献花、樋口千代田区長の挨拶、東京葵ライオンズクラブ伊賀氏の閉式の辞で終了した。

特に藤田植葉氏のアカペラによる「君が代」では、その澄み透る歌声が墓苑内の空気をより一層清らかに感じさせ、式典に荘厳さをもたらしていた。



市野会長を先頭に墓前へ向かう奉仕茶会の一行

春の奉仕茶会

4月6日（日）、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会（会長・市野昭一氏）主催による「春の奉仕茶会」が開催され、表千家流・小野田孝子先生、裏千家・岩崎宗恵先生、及び表千家不白流・吉野宗和先生の3席主で実施された。

市野会長を先頭に、3席主及び各社中の一行が前屋から整然と列を組んで六角堂へ進み、献茶式が行われた。まず、市野会長がお菓子をお茶を、引き続き3席主がお茶をそれぞれ墓前に献じ、参列者一同とともに拝礼し、先の大戦での戦没者に対して慰霊の誠が捧げられた。最後に榊枝奉仕会理事長から春のお茶会開催に対し謝意が示された。

献茶式終了後、3つの薄茶席が前屋

東京葵ライオンズクラブは平和の象徴として昭和48年に結成された。以来、海外で散華され、身元が分からず「自分の生家のお墓に入る事さえできない」ご遺骨を慰霊することこそライオンズクラブの活動の本来の目的であるとの認識のもと、千鳥ヶ淵戦没者墓苑での慰霊祭が、東京葵ライオンズクラブの主要な活動になり、これまで半世紀の永きにわたって、春には戦没者追悼慰霊式典の開催、秋には会員総出による当墓苑清掃奉仕活動が続いている。



表千家流：小野田孝子先生呈茶席



表千家不白流：吉野宗和先生呈茶席



裏千家・岩崎宗恵先生呈茶席

に設けられた。苑内では「ぶらイム」& 柘淵三朗氏による演奏（テルミン・大西ようこ氏、ギター・三谷郁夫氏）があり、春の茶会の雰囲気盛り上げていた。春らしいのどかな一日となり苑内は華やかな和服姿のご婦人たちで一日中賑わい、約350名にのぼる参加者は春爛漫の枝垂れ桜とお茶を楽しんでいた。

＊戦没者遺骨の年度別収容状況（厚生労働省社会・援護局作成「遺骨収集事業の概要（令和6年5月）」から抜粋）〈本文記事1面〉  
政府派遣による戦没者遺骨の収容状況は、下表のとおりです。

| 年 度        | 平成<br>25年度まで | 26年度  | 27年度  | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和<br>元年度 | 2年度<br>（※） | 3年度<br>（※） | 4年度<br>（※） | 5年度 | 6年度<br>（注） | 合 計<br>（単位：柱） |
|------------|--------------|-------|-------|------|------|------|-----------|------------|------------|------------|-----|------------|---------------|
| 遺骨収容<br>柱数 | 339,416      | 1,411 | 1,051 | 886  | 939  | 839  | 404       | 105        | 75         | 121        | 139 | 114        | 345,500       |

※ 令和2～4年度は新型コロナウイルスの感染拡大の状況に配慮しつつ、可能な範囲で事業を実施。  
6年度（注）：奉仕会による計算で内訳は、11/1の24柱、12/12の33柱、12/20の14柱、2/13の38柱、及び2/27の5柱の計114柱。





クラスノヤルスク遺族会 6年12月17日



富山県遺族会 6年12月11日



喇叭保存会 7年2月9日



東京都千代田区海洋少年団 7年1月18日

各団体の慰霊参拝



喇叭伝承会 7年2月16日



トイレ清掃奉仕会 7年2月15日



岡山県倉敷市遺族会連合協議会 7年3月11日



阿含宗清掃奉仕 7年3月9日





東京都世田谷区遺族会連合会 7年3月12日



神奈川県退職女性教職員の会 7年3月12日



静岡県浜松市遺族会 7年3月25日



清掃奉仕会 7年3月15日

各団体の慰霊参拝



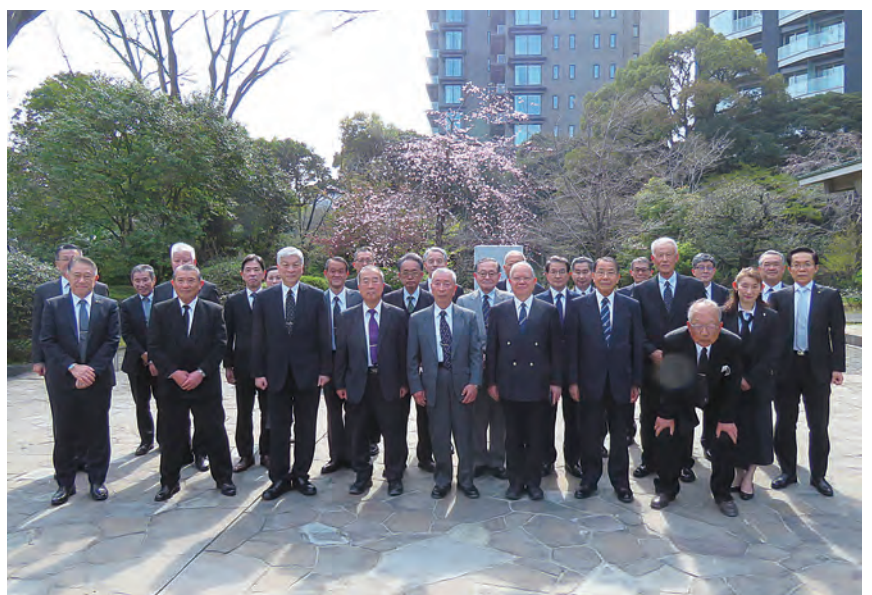
福島県湯川村遺族会 7年3月26日



静岡県菊川市遺族会 7年3月25日



埼玉県川口市遺族会 7年3月30日



水交会月例参拝 7年3月27日





懸賞小論文の  
入選者の発表

千鳥ヶ淵戦没者  
墓苑奉仕会の終戦  
80年事業として令  
和6年7月から令  
和7年1月末の

間、「戦没者慰霊のあり方（慰霊の継承）」  
をテーマに懸賞小論文を広く募集して  
まいりました。お蔭様で53名の方々から  
応募を頂き、厳正な審査の結果、次の  
とおり入選者9名を発表します。（敬称  
略、各賞の氏名は50音順に記載）

○最優秀賞

・吉田 明生「戦没者慰霊のあり方」  
69才、団体職員

○優秀賞

・織茂 麻子「若い世代へ周知のアイ  
デアと祈る心」55才、会社員  
・澤井 園子「戦後80年そして昭和  
100年の節目の年に」55才、主婦

○佳作

・金田一 光春「平和への回廊に立っ  
て」20才、大学生

・光永 邦保「慰霊の心を若者にど  
う伝えるか」70才、保護司  
・吉永 春雄「年配者はいかに戦没  
者慰霊を若い人に伝えるべきか」69  
才、無職

○奨励賞

・赤座 梨乃「戦没者慰霊のあり方  
について」21才、大学生  
・坂巻 莉子「未来へ向けた戦没者  
慰霊」21才、大学生  
・平野 宏太郎「戦没者を慰霊する  
ことの大切さと平和を維持するため  
に若者はどうすればいいのか考えた」  
16才、高校生

これらの小論文は広報紙「千鳥ヶ淵」  
終戦80年特別号（8月1日発行）及び  
小冊子「美しい国、日本」（仮称）に掲  
載予定です。

終戦80年（令和7年度）年間主要慰霊行事等予定表  
（期間：令和7年4月～令和8年3月）

| 月  | 実施日                                                 | 主 催 団 体              | 慰 霊 行 事 名                  |
|----|-----------------------------------------------------|----------------------|----------------------------|
| 4  | 6日(日)                                               | 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会        | 春の奉仕茶会（終了）                 |
|    | 11日(金)                                              | 法華宗（本門流）宗務院          | 千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要（終了）            |
|    | 17日(木)                                              | 龍雲寺御詠歌               | 龍雲寺慰霊法要と御詠歌献詠（終了）          |
| 5  | 26日(月)                                              | 厚生労働省                | 千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式               |
|    | 29日(木)                                              | 防衛省海上自衛隊 日本国練習艦隊     | 千鳥ヶ淵戦没者墓苑献花                |
| 7  | 13日(日)                                              | 千代田区地域振興部国際平和男女平等人権課 | 千代田区戦没者追悼式                 |
|    | 14日(月)                                              | 妙智會教団                | 千鳥ヶ淵戦没者墓苑うら盆供養             |
|    | 15日(火)                                              | 阿含宗関東別院              | 太平洋戦争戦没者供養護摩法要千鳥ヶ淵万燈会      |
| 8  | 2日(土)                                               | 全国強制抑留者協会埼玉県支部       | 令和7年度シベリア抑留関係者 埼玉県慰霊祭      |
|    | 14日(木)                                              | 解脱会 東京地区協議会          | 千鳥ヶ淵戦没者墓苑慰霊供養              |
|    | 15日(金)                                              | 8・15平和祈禱会実行委員会       | 8・15平和祈禱会                  |
|    | 15日(金)                                              | 日蓮宗宗務院               | 千鳥ヶ淵戦没者追善供養並世界立正平和祈願法要     |
|    | 15日(金)                                              | フォーラム平和・人権・環境        | 戦争犠牲者追悼、平和を誓う8・15集会        |
|    | 23日(土)                                              | シベリア抑留者支援センター        | 第23回シベリア・モンゴル抑留犠牲者追悼の集い    |
| 9  | 18日(木)                                              | 浄土真宗本願寺派             | 第45回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要           |
|    | 23日(火)                                              | 立正佼成会                | 第67回千鳥ヶ淵戦争犠牲者慰霊法要          |
| 10 | 17日(金)                                              | （公財）千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会     | 終戦80年（令和7年度）千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭 |
|    | 18日(土)                                              | シベリアクラスノヤルスク遺族会      | シベリア抑留中死没者のための鎮魂祭          |
|    | 26日(日)                                              | 東京地区メレヨン会            | メレヨン会東京地区追悼慰霊祭             |
| 11 | 3日(月)                                               | ソ連抑留戦友・遺族会 東京ヤゴダ会    | 第29回鎮魂慰霊祭                  |
|    | 9日(日)                                               | 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会        | 秋の奉仕茶会                     |
|    | 13日(木)                                              | 世界連邦日本仏教徒協議会・関西宗教懇話会 | 全国仏教者による戦没殉難者慰霊法要          |
|    | 30日(日)                                              | 新日本宗教青年会連盟（新宗連青年会）   | 第60回戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典       |
| 3  | 27日(金)                                              | ピースリング・オブ・グアム・ジャパン   | 春彼岸参拝                      |
|    | 29日(日)                                              | 解脱会東京第一教区            | 天茶祭り（千鳥ヶ淵戦没者墓苑供養祭）         |
| 備考 | ・東京葵ライオンズクラブ主催の第52回千鳥ヶ淵戦没者墓苑戦没者追悼慰霊式典は7年3月29日に終了した。 |                      |                            |

終戦80年募金

8,786,000円  
累計（7年3月31日現在）  
5,146,000円  
（2月1日から3月31日の間）

☆募金された皆様（敬称略、順不同）

山本勝久、大浦夏樹◎、柏谷康博、浦上吉生、室伏孝一、  
井関律子、廣上章彦、丸市豊也、木村 清、多田昇司、  
天内明枝、勝呂洋次、清水典郎、本永博幸、氏原 伸

凡例：◎は100口以上の高額募金者  
（皆様のご芳志に篤く御礼を申し上げます）

終戦80年募金（継続）のお知らせ

終戦80年募金（千鳥ヶ淵戦没者墓苑のリニューアル（施設・設備等）等のための募金（継続）

- ・一口：個人5千円、団体3万円
- ・期間：令和6年7月1日から令和7年12月末日まで
- ・振込口座：郵便為替口座番号 00140-2-42556
- ・「終戦80年募金」と明記して下さい。

公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会  
理事長 榊枝 宗男

奉仕会の慰霊事業はご支援者の浄財と皆様の会費等により運営させて頂いております。本年度も更なる皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。  
この際、恐縮ですが過去の未納分も含めましてご連絡させて頂きます。  
尚、3年間未納の方は残念ではありますが、規定により退会扱いとさせて頂きますのでご理解の上ご了承頂きますようお願い申し上げます。

◎奉仕会年度会費納入者（団体・個人）（敬称略、順不同）  
高知県遺族会、小坂俊雄、大久保隆文、齋藤文雄

◎新入会員（敬称略、順不同）  
※（正）は正会員、（終）は終身会員、（特）は特別会員  
太田隆子（正）、山根弘之（終）、（二社）東京郷友連盟（特）

◎奉納者（団体・個人）（敬称略、順不同）  
クラスノヤルスク遺族会、鎌倉市遺族会、ピースリング・オブ・グアム・ジャパン、普明会教団、解脱会、水交会、東京葵ライオンズクラブ、帝国華道院研究部、富士ダイス(株)、滋賀県立石山高等学校第8期卒業会古希同窓会、ブラビチャヤ・プロムマース、小坂俊雄、廣川貞雄、廣川剛秀、奥住栄子、岩浅博之、秀平良子、柴田米實、酒井治雄、木村義彦、河内 実

◎参拝団体（前項以外、敬称略、順不同）  
喇叭保存会、喇叭伝承会、千代田区海洋少年団

◎清掃奉仕（敬称略、順不同）  
阿含宗清掃奉仕、千鳥ヶ淵戦没者墓苑清掃奉仕会、千鳥ヶ淵戦没者墓苑トイレ清掃奉仕会

◎献花台奉仕者（敬称略、順不同）  
柴山古流・緑山流（井上冷美、本多冷花、古屋冷絹）、松南古流（水沼松志）、京葉古流（小浦一條、渡邊一陽、原 一志、内藤一春）、古流桜会（斉藤理富、田畑理雅、清水理令、田端理信）

令和7年3月31日まで受付分を掲載、4月1日以降受付分は次号に掲載します。

令和7年度会費納入のお願い

この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



慰霊の言葉

参議院議員 佐藤 正久



青葉の候、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。戦没された方々の慰霊に尽力されている皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

今年、昭和に換算すると100年、先の大戦の終結からは80年となる節目の年であります。満州事変に端を発した15年にわたる戦火の中で斃れた日本国民の数は約310万人。その内、軍人・軍属は約230万人、民間人は約80万人と言われていますが、あまりにも大きな犠牲者です。

とくに、戦局が急激に悪化した1944年以降の死者数は約281万人と全体の9割近くに達し、この時期の戦争指導・作戦指導の不適切さを如実に表しています。南方戦線、海上護衛戦、本土空襲、沖縄戦、戦後の在外邦人引揚げと、幾多の悲劇が起こり、亡くなられた方々への哀悼の思いは尽きることがありません。

そして、戦後80年の今なお、100万を超す戦没者のご遺骨が未収容のままになっている現状があります。アジア・太平洋地域の各地に眠る戦没者の御霊のことを日本国民は忘れてはなりません。

昨年12月、パラオ諸島の激戦地ペリリュー島では日本軍将兵の集団埋葬地の発掘調査が行われ、半ば埋没していた日本軍戦車の残骸付近からご遺骨が発見されました。また、2万2千人近い戦死者を出した硫黄島では、その半数に当たる1万人以上のご遺骨が未収容となっていますが、昨年の硫黄島での遺骨収容に遠い異郷の地で亡くなった曾祖父を想うと涙が自然と流れた」と述べた。

4月7日には天皇后陛下が硫黄島を訪問されたこともあり、これらの出来事を契機として、日本国民が遺骨収容を帰還事業に大いに関心を寄せてくれることを期待してやみません。

戦争は、心身に大きな傷跡を残す残酷なものです。我々日本国民は、310万同胞の尊い犠牲が礎となって戦後日本の復興が果たされたことを決して忘れてはなりませんし、戦争の惨禍を再び繰り返してはいけません。

日本を取り巻く現在の安全保障環境は、先の大戦が終結して以来、最も複雑かつ厳しい状況となっております。外交防衛の専門家として、日本が再び戦渦に巻き込まれることがない様に国政の場で全力を尽くすことをお誓い申し上げます。慰霊の言葉とさせていただきます。

JYMA日本青年遺骨収集団の活動報告会に参加して

理事長 榎枝 宗男

JYMA日本青年遺骨収集団は昭和42年「学生慰霊団」として発足し、現在の団員は、全国の大学生60名を含む145名が所属している。

3月8日、靖国神社内にある偕行会館にて「活動報告会」が開催され、約90名の団員が全国から参集した。

本報告会では、反町佳生理事長の挨拶に始まり、今村奎太学生代表の進行により「令和6年度派遣報告」が実施され、派遣回数28回、派遣日数のべ355日、参加人員102名との発表があった。

派遣団員の一人である篠原永子(文教大学4年)さんは、同報告会で「私は、曾祖父である篠原八郎が従軍し最後の地となったミャンマーでの遺骨収集活動に従事した。曾祖父のことは写真でしか知らないが、祖国に家族を残し、こんな遠い異郷の地で亡くなった曾祖父を想うと涙が自然と流れた」と述べた。

墓苑便り(奉仕会だより)

篠原団員はさらに続けて、「遺骨収集は戦争が遠い出来事ではないことを実感させられる作業である。1年前、沖縄での活動で初めて遺骨を発見した時は、こんなところに」と強い衝撃を受けた。同世代の友人にJYMAの活動を伝えると、なんでもそんなことなのかと困惑されたが、私も数年前まで戦争は他人事であった。JYMA活動を経て、今ある平和は当り前じゃないと伝え続けたい。世界では中東のガザやウクライナなど各地で戦争や紛争が今も続く。遺骨収集に関わり、過去に日本であったことがまた別の地域で起きて、新たな遺族が生まれていると想像できるように」ことも語った。

篠原さんは、今春、都内の小学校の教諭として働き始めるので、いつか自分なりに平和とは何かを子供たちに伝えたいと決意しているそうだ。

私、榎枝は、本報告会へご案内していただき参加したが、まさに心が洗われる思いであった。JYMAの皆さんの今後益々のご発展をお祈りする。

7年5月・6月の献花の予定

帝国華道院研究部の会員による5月6月の献花は次の方々です。

ご来苑の際は、是非ご鑑賞下さい。

5月 草月流

松南古流

一翠古流

池坊壺宮式

池坊宝生流

6月 柴山古流・緑山流

日新流

未生流

花古流

高橋一美山

水沼松志

内藤理扇

下村柳泉

大澤勝風

長谷川一翠

濱中冷雅

小田切博新

谷口信甫

今井草悦

令和7年 役員会議等の予定

令和7年度 定時評議員会

7年5月22日(木)

10時30分...G市ケ谷

事前に関係各位へ細部のご連絡をメール等でお送り致します。

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。

宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。



宝くじドリームジャンボ絵本



消防団防災学習



宝くじ桜



移動採血車



一輪車



青色回転灯装備車



検診車



パブリックアート



宝くじ桜

検診車

移動採血車

滑り台広場



宝くじドリームジャンボ絵本

滑り台広場

青色回転灯装備車

一輪車

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会  
https://jla-takarakuji.or.jp/



この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。